

種類別明細書の記入例

◎前年に申告された方

…種類別明細書に前年までの資産が印字されています。記入例にならって、前年中に異動があった資産を手書きで加除修正してください。

◎はじめて申告される方

…令和7年1月1日現在において所有している全ての資産を、下の記入例にならって手書きで記入してください。

<資産の種類>

資産の種類に対応する1~6までの数字を記入してください。

- 1 構築物
- 2 機械及び装置
- 3 船舶
- 4 航空機
- 5 車両及び運搬具
- 6 工具、器具及び備品

<資産の名称等>

資産の名称及び規格等を記入してください。

<数量>

資産の数量を記入してください。

<取得年月>

資産を取得した年月を記入してください。

- 昭和 → S
平成 → H
令和 → R

<取得価額>

資産を取得するために支払った金額(輸送費、据付費用等の付帯費を含む。)を記入してください。
圧縮記帳は認められないので、実際の価格を記入してください。

<耐用年数>

資産の耐用年数を記入してください。(減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表に掲げる耐用年数を記入してください。)

<増加事由>

資産を取得した事由について、該当する番号を○で囲んでください。
1 新品取得 2 中古取得 3 移動による受入れ 4 その他

※税務調査により資産が追加されている場合がありますのでご確認ください。

所有者コード		令和7年度										所有者名		枚のうち	
8000000		種類別明細書(増加資産・全資産用)										合志 太郎		枚目	
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月		取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年	月					率	コード			
1	1	(記入の必要はありません)	アスファルト舗装工事	1	H	20	4	3,650,000	10				1 2 3 4		
2	2		パン又は菓子類製造設備	1	H	12	9	7,328,000	10				1 2 3 4		
3	6		冷蔵庫	1	H	22	7	560,000	6				1 2 3 4		
4	6		応接セット	1	H	23	4	1,260,000	8				1 2 3 4		
5	6		事務机	3	H	13	1	630,000	8				1 2 3 4	R6.3月 1台廃棄	
6	6		キャビネット	1	H	14	11	1,000,000	15				1 2 3 4		
7	6		ノートパソコン	1	H	15	6	400,000	4				1 2 3 4	R6.9月 廃棄	
8	6		液晶テレビ	1	H	27	9	375,900	5				1 2 3 4		
9	6		エアコン	2	R	6	1	600,000	6				1 2 3 4	R6.1.1取得	
10	6		パソコン	1	R	6	10	300,000	4				1 2 3 4	熊本市から 資産異動	
11													1 2 3 4		
12													1 2 3 4		
13													1 2 3 4		
14													1 2 3 4		
15													1 2 3 4		
16													1 2 3 4		
17													1 2 3 4		
18													1 2 3 4		
小計								15,623,900							

★資産の項目を修正する場合
明細書に印字されている該当の資産の修正すべき箇所を2重線で抹消し、その上に修正後の内容を記入してください。

★資産が減少した場合
明細書に印字されている該当の資産を2重線で抹消してください。

★資産が増加した場合
明細書の余白に、手書きで内容を記入してください。

自社電算機による
全資産申告の方のみ
ご記入ください。

<摘要>
次のような事項を記入してください。

- (1) 資産が減少した場合は、その年月と事由(例: R6.9廃棄)
- (2) 課税標準の特例の適用がある資産については、その適用条項
- (3) 耐用年数の短縮を適用している資産については、その旨の表示
- (4) 増加償却を行っている資産については、その旨の表示
- (5) 過年度取得した資産は今年度から申告した事由
- (6) 1月1日に取得した場合は、(例: R7.1.1取得)